

GPS 自動解析ソフトウェア
ロールオーバー対応プログラム

MGROver.exe

取扱説明書

システム機器事業部 ITS BU GPS 応用推進課
〒662-0934
兵庫県西宮市西宮浜 2 丁目 20 番
TEL0798-33-7552 FAX0798-33-7511

2013 年 05 月 08 日 発行



古野電気株式会社

本書の著作権は、古野電気株式会社に帰属します。
本書の内容の一部、または全部を古野電気株式会社の許可なく複製、転載、あるいは
翻訳することを禁じます。

目次

1.	はじめに.....	4
1.1.	MGROver.exe の使い方の参照先(章番号).....	4
1.2.	注意点	5
1.3.	ダウンロードファイル.....	6
2.	機能.....	6
2.1.	対象の GPS 観測ファイルについて	6
2.2.	正しい GPS 時刻の GPS 観測ファイルについて	6
2.3.	ロールオーバー対応の方法	6
2.4.	ロールオーバー対応前後のファイル名例	7
2.4.1.	SIG ファイル名例	7
2.4.2.	RMG ファイル名例	7
2.5.	コマンドライン.....	8
3.	自動変換の設定手順.....	9
4.	再解析の手順.....	13
5.	手動変換の手順	16

1. はじめに

GPS 受信機 MG-2110 で観測した GPS 観測ファイル(SIG ファイル/RMG ファイル)の GPS 時刻が、2013/8/11 00:00:01 [UTC]に、過去の 1993/12/26 00:00:01[UTC]に戻るロールオーバーが起き、正常な解析結果が得られなくなります。

また、GPS 観測ファイル名は、過去に戻った GPS 時刻に基づいたファイル名となります。

MG-2110 以外の GPS 受信機 MG-311 * (※1)は 2017/9/17 00:00:01[UTC]に、1998/2/1 00:00:01 [UTC]に戻り、GPS 受信機 MG-3111C は 2022/1/2 00:00:01 [UTC]に、2002/5/19 00:00:01 [UTC]に戻ります。

GPS 受信機	ロールオーバーが起きる日時[UTC]	過去に戻った GPS 時刻[UTC]
MG-2110	2013/8/11 00:00:01	1993/12/26 00:00:01
MG-311 *	2017/9/17 00:00:01	1998/02/01 00:00:01
MG-3111C	2022/1/02 00:00:01	2002/05/19 00:00:01

表 1-1 GPS 受信機別ロールオーバー時期

ロールオーバー対応プログラム MGROver.exe は、GPS 自動解析ソフトウェアの一部で、以下を行います。

- ・過去に戻った GPS 時刻を正しい GPS 時刻に変換する(以降、ロールオーバー対応と記述する)。
- ・正しい日時の GPS 観測ファイル名に変換する。

解析処理を行う前に本プログラムを使用することで、正しい日時の GPS 観測ファイルになり、正常な解析結果が得られるようになります。

1.1. MGROver.exe の使い方の参照先(章番号)

MGROver.exe の使い方(手順)について、下表に記述している章を参考にしてください。

なお、「1.2 注意点」に記載している内容に注意して、MGROver.exe を使用してください。

内容	章番号
自動でロールオーバー対応を行う場合の設定手順	「3 自動変換の設定手順」を参照してください。
手動でロールオーバー対応を行う場合の手順	「5 手動変換の手順」を参照してください。
GPS 時刻が過去に戻った GPS 観測ファイルで解析を行ってしまった場合の再解析の手順	「4 再解析の手順」を参照してください。
GPS 時刻が過去に戻った GPS 観測ファイル名及び、対応後の GPS 観測ファイル名例	「2.4 ロールオーバー対応前後のファイル名例」を参照してください。

表 1-2 参照先(章番号)

※1 MG-311 *は、MG-3110 / MG-3111 / MG-3112 / MG-3111A / MG-3111B があります。

1.2. 注意点

本プログラムを使用するにあたり、以下の注意点があります。

No	注意点
1	<p>2013年8月11日[UTC]に観測したxxxxL26Z.SIG(例. 0472L26Z.SIG)のみ、ロールオーバー対応を行いません。</p> <p>※xxxxL26Z.SIGのGPS時刻は、過去に戻った1993年12月26日のままです。</p>
2	<p>解析装置のシステム時刻を正しい日本時刻に合わせてください。</p> <p>※システム時刻が正しい時刻になっていない場合、過去に戻ったGPS時刻か、正しいGPS時刻かの正しい判定ができず、ロールオーバー対応が行われない可能性があります。</p>
3	<p>本プログラムにて、ロールオーバー対応したGPS観測ファイルのファイル名は、正しいGPS時刻に基づいて作成し、上書き出力します。</p> <p>また、元のGPS観測ファイルを削除します。</p> <p>但し、ロールオーバー対応に失敗した場合は、元の観測ファイルは削除されません。</p> <p>※GPS観測ファイル名については、「2.4 ロールオーバー対応前後のファイル名例」を参照してください。</p>
4	<p>本プログラムは、15年以上前のGPS観測ファイルのGPS時刻に対して、ロールオーバー対応を行います。</p> <p>よって、15年前のGPS観測ファイルを、本プログラムでロールオーバー対応した場合、未来のGPS時刻に変換されます。</p> <p>例. 1998/03/15 00:00:00 ~ 1998/03/15 00:59:30[UTC]の0472C150.SIGが、 2017/10/29 00:00:00 ~ 2017/10/29 00:59:30[UTC]の0472J290.SIGに、 変換されます。</p> <p>※15年以上前のGPS観測ファイルを、GPS自動解析ソフトウェアで再解析する場合は、本プログラムを使用しないでください。</p>

表 1-3 注意点

1.3. ダウンロードファイル

ファイル名	内容
MGROver.exe	ロールオーバー対応プログラム
Readme_MGROvertxt	本プログラムのリードミーファイル
ロールオーバー対応プログラム取扱説明書	本プログラムの取扱説明書

表 1-4 ダウンロードファイル

2. 機能

2.1. 対象の GPS 観測ファイルについて

本プログラムは、以下の GPS 観測ファイルに対応しています。

GPS 観測ファイル	GPS 受信機
SIG ファイル	MG-2110
RMG ファイル	MG-2110 / MG-3110 / MG-3111 / MG-3112
10 分 RMG ファイル	MG-3111A / MG-3111B / MG-3111C

表 2-1 対象の GPS 観測ファイル

2.2. 正しい GPS 時刻の GPS 観測ファイルについて

以下の GPS 観測ファイルは、正しい GPS 時刻です。

- ・ソフトウェアを更新した GPS 受信機で観測した GPS 観測ファイル。
- ・本プログラムにて、ロールオーバー対策を行った GPS 観測ファイル。

本プログラムは、過去に戻った GPS 時刻か、正しい GPS 時刻かの判定をしており、正しい GPS 時刻については変換を行いません。

よって、上記の正しい GPS 時刻の GPS 観測ファイルを本プログラムで実行しても問題ありません。

2.3. ロールオーバー対応の方法

本プログラムには、以下のロールオーバー対応の方法があります。

①自動変換機能：

GPS 自動解析ソフトウェアの Auto.bat に、本プログラムのコマンドラインを記述することで、自動でロールオーバー対応を行います。

Auto.bat の設定手順は、「3 自動変換の設定手順」を参照してください。

②手動変換機能：

MGROver.exe を起動し、画面操作にて任意の GPS 観測ファイルのロールオーバー対応を行います。

画面操作の手順は、「5 手動変換の手順」を参照してください。

2.4. ロールオーバー対応前後のファイル名例

GPS 受信機 MG-2110 から回収した GPS 観測ファイル名例と、本プログラムにてロールオーバー対応した GPS 観測ファイル名例を、下表に記述します。

2.4.1. SIG ファイル名例

GPS 受信機 ID が 0472 の場合の SIG ファイル名例を記述します。

GPS データを観測した日時[UTC]	GPS 受信機から回収した時の GPS 観測ファイル名(※1)	ロールオーバー対応後のファイル名例(※2)
2013/8/11 00:00:00 ~ 2013/8/11 00:59:30	0472H110.SIG (1993/12/26 00:00:00 ~ 00:59:30)	0472H11Z.SIG (※3) (2013/8/11 00:00:00 ~ 00:59:30)
2013/8/11 01:00:00 ~ 2013/8/11 01:59:30	0472L260.SIG (1993/12/26 01:00:00 ~ 01:59:30)	0472H110.SIG (2013/8/11 01:00:00 ~ 01:59:30)
2013/8/11 10:00:00 ~ 2013/8/11 10:59:30	0472L269.SIG (1993/12/26 10:00:00 ~ 10:59:30)	0472H119.SIG (2013/8/11 10:00:00 ~ 10:59:30)
2013/8/11 11:00:00 ~ 2013/8/11 11:59:30	0472L26A.SIG (1993/12/26 11:00:00 ~ 11:59:30)	0472H11A.SIG (2013/8/11 11:00:00 ~ 11:59:30)
2013/8/11 23:00:00 ~ 2013/8/11 23:59:30	0472L26M.SIG (1993/12/26 23:00:00 ~ 23:59:30)	0472H11M.SIG (2013/8/11 23:00:00 ~ 23:59:30)
2013/8/12 00:00:00 ~ 2013/8/12 00:59:30	0472L270.SIG (1993/12/27 00:00:00 ~ 00:59:30)	0472H120.SIG (2013/8/12 00:00:00 ~ 00:59:30)

表 2-2 SIGの入出力ファイル名例

2.4.2. RMG ファイル名例

GPS 受信機 ID が 0472 の場合の RMG ファイル名例を記述します。

GPS データを観測した日時[UTC]	GPS 受信機から回収した時の GPS 観測ファイル名(※1)	ロールオーバー対応後のファイル名例(※2)
2013/8/11 00:00:00 ~ 2013/8/11 00:59:30	0472H110.RMG (1993/12/26 00:00:00 ~ 00:59:30)	0472H110.RMG (2013/8/11 00:00:00 ~ 00:59:30)
2013/8/11 01:00:00 ~ 2013/8/11 01:59:30	0472L261.RMG (1993/12/26 01:00:00 ~ 01:59:30)	0472H111.RMG (2013/8/11 01:00:00 ~ 01:59:30)
2013/8/11 10:00:00 ~ 2013/8/11 10:59:30	0472L26A.RMG (1993/12/26 10:00:00 ~ 10:59:30)	0472H11A.RMG (2013/8/11 10:00:00 ~ 10:59:30)
2013/8/11 11:00:00 ~ 2013/8/11 11:59:30	0472L26B.RMG (1993/12/26 11:00:00 ~ 11:59:30)	0472H11B.RMG (2013/8/11 11:00:00 ~ 11:59:30)
2013/8/11 23:00:00 ~ 2013/8/11 23:59:30	0472L26N.RMG (1993/12/26 23:00:00 ~ 23:59:30)	0472H11N.RMG (2013/8/11 23:00:00 ~ 23:59:30)
2013/8/12 00:00:00 ~ 2013/8/12 00:59:30	0472L270.RMG (1993/12/27 00:00:00 ~ 00:59:30)	0472H120.RMG (2013/8/12 00:00:00 ~ 00:59:30)

表 2-3 RMGの入出力ファイル名例

※1 GPS 時刻は、過去の 1993 年 12 月 26 日です。

※2 GPS 時刻は、正しい 2013 年 8 月 11 日です。

※3 2013/08/11 00:00:00[UTC]に観測したxxxxH110.SIG(例. 0472H110.SIG)のみ、ファイル名の末尾が“Z” (例. 0472H11Z.SIG)になりますが、正しい GPS 時刻になります。

2.5. コマンドライン

本プログラムのコマンドラインは、以下の通りです。

MGROver.exe GPS 観測ファイル オプション引数

・入力ファイル名

ロールオーバー対応を行う GPS 観測ファイルを指定します。

指定方法は、以下の何れかとなります。

- ①フォルダ名による指定例(指定したフォルダ内の SIG ファイル/RMG ファイルがロールオーバー対応されます。)

MGROver.exe C:\西宮 GPS 観測\SIG

- ②ワイルドカードによる指定例(指定した拡張子のファイルがロールオーバー対応されます。)

MGROver.exe C:\西宮 GPS 観測\SIG *.sig

- ③ファイル名による指定例(指定したファイルがロールオーバー対応されます。)

MGROver.exe C:\西宮 GPS 観測\SIG\0472L261.sig

・オプション引数

/NOTDEL :元の GPS 観測ファイルを削除しません。

入力ファイルを削除しない場合の指定例

MGROver.exe C:\西宮 GPS 観測\SIG /NOTDEL

3. 自動変換の設定手順

Auto.bat を編集する時は、自動解析処理が実施されない時間帯に行ってください。

- ①ダウンロードした“MGROver.exe”と“Readme_MGROvertxt”を、解析フォルダ(※1)の配下にある TOOL フォルダに格納します(例. C:¥西宮 GPS 観測¥TOOL)。

※実際の解析フォルダ配下の TOOL フォルダに格納してください。



図 3-1 TOOL フォルダ例

※1 GPS 自動解析ソフトをインストールしているフォルダ。

②解析フォルダ直下の Auto.bat(例. C:\西宮 GPS 観測\Auto.bat)をエディタで開きます。

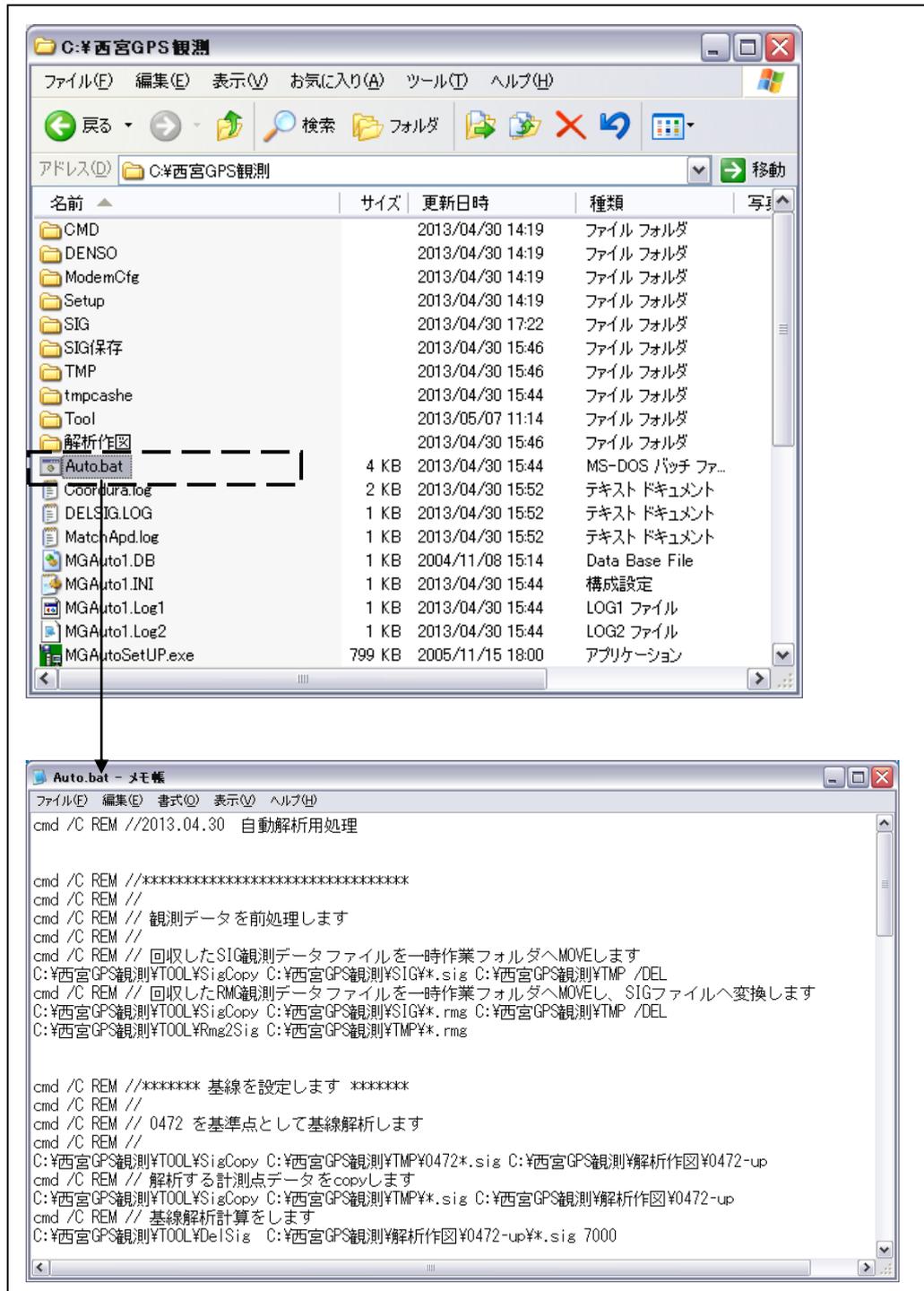


図 3-2 Auto.bat 例

③Auto.bat の先頭に、本プログラムのコマンドラインを追記します(下図(i)のコマンドライン)。

※注意)

フォルダ名(太字箇所)は、解析フォルダです。
実際の Auto.bat に記述されているフォルダ名
を記述します。

```
cmd /C REM //2013.04.30 自動解析用処理
```

```
cmd /C REM //2013.05.10 ロールオーバー補正を行います
```

```
C:\西宮 GPS 観測\TOOL\MGROver.exe C:\西宮 GPS 観測\SIG
```

(i) MGROver.exe の処理

```
cmd /C REM //*****
```

```
cmd /C REM //
```

```
cmd /C REM // 観測データを前処理します
```

```
cmd /C REM //
```

```
cmd /C REM // 回収した SIG 観測データファイルを一時作業フォルダへ MOVE します
```

```
C:\西宮 GPS 観測\TOOL\SigCopy C:\西宮 GPS 観測\SIG\*.sig C:\西宮 GPS 観測\TMP\DEL
```

```
cmd /C REM // 回収した RMG 観測データファイルを一時作業フォルダへ MOVE し、SIG ファイルへ変換します
```

```
C:\西宮 GPS 観測\TOOL\SigCopy C:\西宮 GPS 観測\SIG\*.rmg C:\西宮 GPS 観測\TMP\DEL
```

```
C:\西宮 GPS 観測\TOOL\Rmg2Sig C:\西宮 GPS 観測\TMP\*.rmg
```

```
cmd /C REM //***** 基線を設定します *****
```

```
cmd /C REM //
```

```
cmd /C REM // 0472 を基準点として基線解析します
```

```
cmd /C REM //
```

```
C:\西宮 GPS 観測\TOOL\SigCopy C:\西宮 GPS 観測\TMP\0472*.sig C:\西宮 GPS 観測\解析作図\0472-up
```

```
cmd /C REM // 解析する計測点データを copy します
```

図 3-3 Auto.bat 追記例

※MGROver.exe のコマンドラインの説明

“C:\西宮 GPS 観測\SIG”フォルダにある SIG ファイル及び、RMG ファイルをロールオーバー対応
します。

コマンドラインの詳細については、Readme_MGROver.txt を参照してください。

④Auto.bat を上書き保存し、終了します。

⑤ロールオーバーが起きる 2013 年 8 月 11 日以降に、解析結果ファイルを確認します。
解析結果ファイル(例. 0472-7474.txt)をエクセルで開き、“収集日時(年)”～“収集日時(秒)”までの日時[JST]に、正しい GPS 時刻が出力されていれば、ロールオーバー対応に成功しています。

※ロールオーバーが起きる日は、GPS 受信機によって、異なります。
詳細は、「表 1-1 GPS 受信機別ロールオーバー時期」を参照してください。

ID	結果	解析対象開始GPS時刻(秒)	解析対象終了GPS時刻(秒)	収集日時(年)	収集日時(月)	収集日時(日)	収集日時(時)	収集日時(分)	収集日時(秒)
2	7474 1	1060200000	1060203570	2013	8	11	5	0	0
3	7474 1	1060203600	1060207170	2013	8	11	6	0	0
4	7474 1	1060207200	1060210770	2013	8	11	7	0	0
5	7474 1	1060210800	1060214370	2013	8	11	8	0	0
6	7474 1	1060214400	1060217970	2013	8	11	9	0	0
7	7474 1	1060218000	1060221570	2013	8	11	10	0	0
8	7474 1	1060221600	1060225170	2013	8	11	11	0	0
9	7474 1	1060225200	1060228770	2013	8	11	12	0	0
10	7474 1	1060228800	1060232370	2013	8	11	13	0	0
11	7474 1	1060232400	1060235970	2013	8	11	14	0	0
12	7474 1	1060236000	1060239570	2013	8	11	15	0	0
13	7474 1	1060239600	1060243170	2013	8	11	16	0	0
14	7474 1	1060243200	1060246770	2013	8	11	17	0	0
15	7474 1	1060246800	1060250370	2013	8	11	18	0	0
16	7474 1	1060250400	1060253970	2013	8	11	19	0	0
17	7474 1	1060254000	1060257570	2013	8	11	20	0	0

図 3-4 解析結果例

4. 再解析の手順

ロールオーバーが起きる 2013 年 8 月 11 日(※1)以降、解析されない、SIG 保存フォルダに GPS 観測ファイル(SIG ファイル/RMG ファイル)が保存されていない等の症状が発生した場合、以下の手順で再解析を行ってください。

- ①「3 自動変換の設定手順」通り、自動変換の設定を行います。
- ②ロールオーバー対応を行わないと、GPS 観測ファイルは過去に戻った GPS 時刻の年月(例. 1993 年 12 月) (※1)で、SIG 保存フォルダ(例. C:\西宮 GPS 観測\SIG 保存\00000472\1993_12)に保存されます。

この GPS 観測ファイルを、SIG フォルダにコピーします。

・RMG ファイルの場合:

GPS 時刻が過去に戻った RMG ファイルが保存されている SIG 保存フォルダ(例. C:\西宮 GPS 観測\SIG 保存\RMG\00007474\1993_12)の全ての RMG ファイルを SIG フォルダ(例. C:\西宮 GPS 観測\SIG)にコピーします。

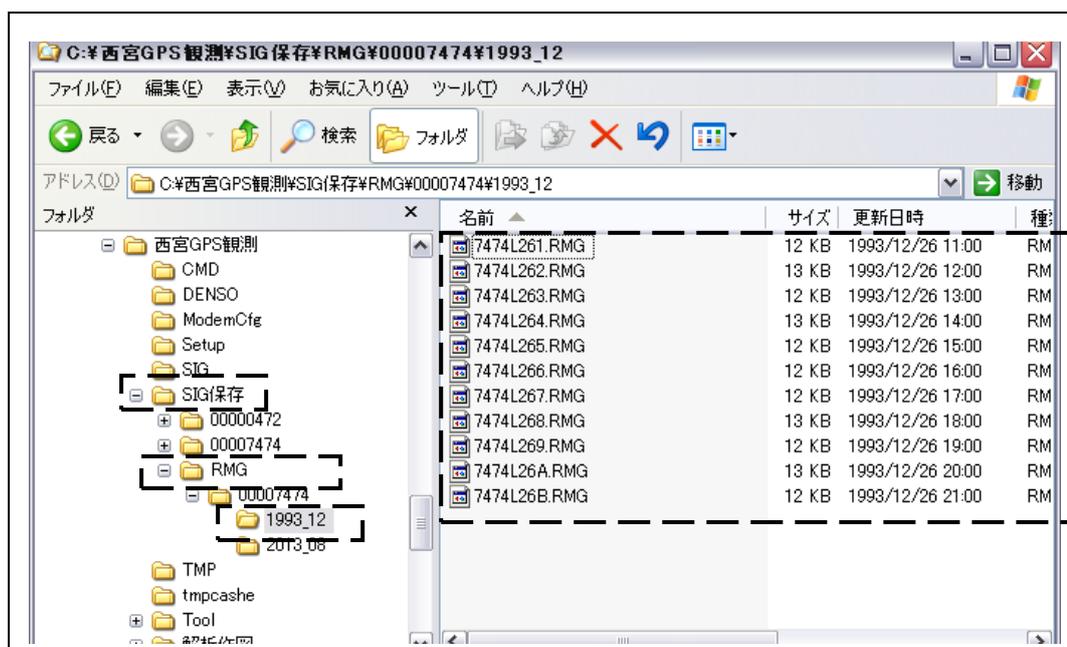


図 4-2 SIG 保存フォルダ例(RMG ファイル)

※1 ロールオーバーが起きる日は、及び、過去に戻った GPS 時刻は、GPS 受信機によって異なります。詳細は、「表 1-1 GPS 受信機別ロールオーバー時期」を参照してください。

・SIG ファイルの場合:

GPS 時刻が過去に戻った SIG ファイルが保存されている SIG 保存フォルダ(例. C:\西宮 GPS 観測\SIG 保存\00007474\1993_12)の全ての SIG ファイルを SIG フォルダ((例. C:\西宮 GPS 観測\SIG))にコピーします。

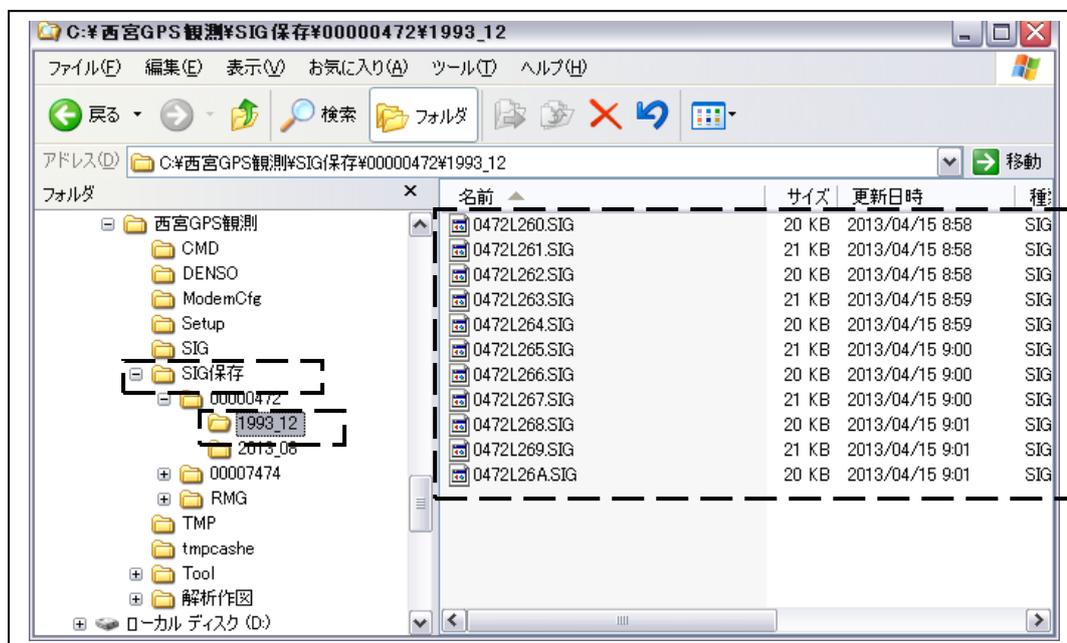


図 4-4 SIG 保存フォルダ例(SIG ファイル)

③ModemCenterPC.exe を起動し、メニュー[解析->今すぐ解析する]をクリックして、再解析を行います。

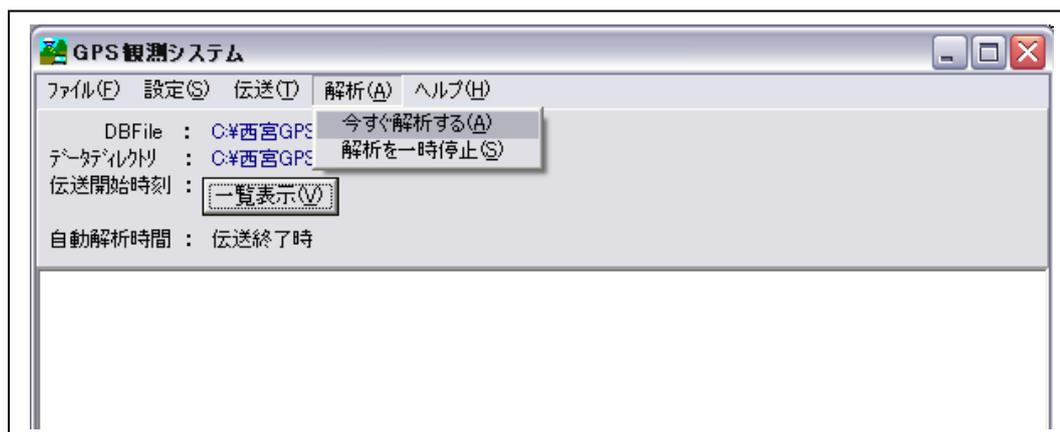


図 4-5 ModemCenterPC.exe

- ④再解析終了後、解析結果が出力されていることを確認してください。
 解析結果ファイル(例. 0472-7474.txt)をエクセルで開き、“収集日時(年)”～“収集日時(秒)”までの日時[JST]に、正しいGPS時刻が出力されていれば、ロールオーバー対応に成功しています。

ID	結果	解析対象開始GPS時刻(秒)	解析対象終了GPS時刻(秒)	収集日時(年)	収集日時(月)	収集日時(日)	収集日時(時)	収集日時(分)	収集日時(秒)
1									
2	7474	1	1060200000	1060203570	2013	8	11	5	0
3	7474	1	1060203600	1060207170	2013	8	11	6	0
4	7474	1	1060207200	1060210770	2013	8	11	7	0
5	7474	1	1060210800	1060214370	2013	8	11	8	0
6	7474	1	1060214400	1060217970	2013	8	11	9	0
7	7474	1	1060218000	1060221570	2013	8	11	10	0
8	7474	1	1060221600	1060225170	2013	8	11	11	0
9	7474	1	1060225200	1060228770	2013	8	11	12	0
10	7474	1	1060228800	1060232370	2013	8	11	13	0
11	7474	1	1060232400	1060235970	2013	8	11	14	0
12	7474	1	1060236000	1060239570	2013	8	11	15	0
13	7474	1	1060239600	1060243170	2013	8	11	16	0
14	7474	1	1060243200	1060246770	2013	8	11	17	0
15	7474	1	1060246800	1060250370	2013	8	11	18	0
16	7474	1	1060250400	1060253970	2013	8	11	19	0
17	7474	1	1060254000	1060257570	2013	8	11	20	0
18									
19									
20									
21									

図 4-6 解析結果例

5. 手動変換の手順

画面操作により、GPS 観測ファイル(SIG ファイル/RMG ファイル)のロールオーバー対応が行えます。

- ①ダウンロードした“MGROver.exe”と“Readme_MGROvertxt”を、解析フォルダ(※1)の配下にある TOOL フォルダに格納します(例. C:\西宮 GPS 観測\TOOL)。

※実際の解析フォルダ配下の TOOL フォルダに格納してください。



図 5-1 TOOL フォルダ例

※1 GPS 自動解析ソフトウェアをインストールしているフォルダ。

②GPS 観測ファイルを、SIG フォルダ(例. C:\西宮 GPS 観測\SIG)に格納します。

※実際の解析フォルダ配下の SIG フォルダに格納してください。

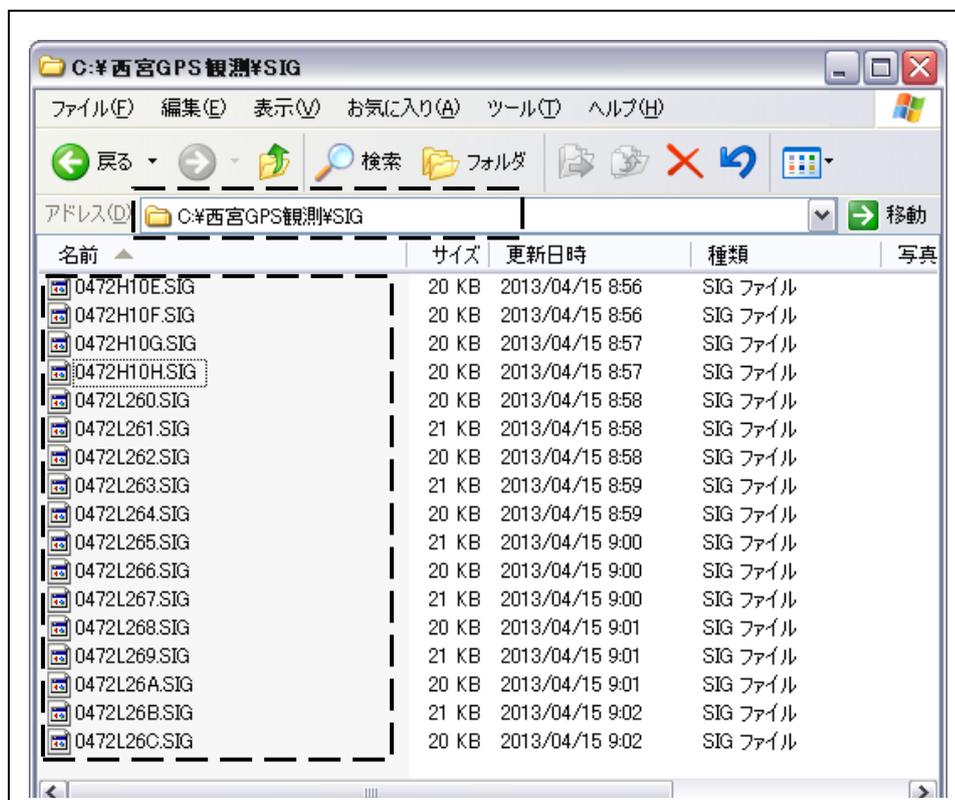


図 5-2 SIG フォルダ例

③MGROver.exe を起動します。

- ・元の GPS 観測ファイルの削除するか、削除しないかを選択します。

元の GPS 観測ファイルを削除する場合：

“ 変換成功后、入力 SIG、RMG ファイルを削除”をチェックします。

元の GPS 観測ファイルを削除しない場合：

“ 変換成功后、入力 SIG、RMG ファイルを削除”のチェックをはずします。

※MGROver.exe 起動時は、“ 変換成功后、入力 SIG、RMG ファイルを削除”がチェックされています。（元の GPS 観測ファイルは削除されます。）

- ・[次へ]をクリックします。



図 5-3 MGROver.exe 起動画面

- ④GPS 観測ファイルのあるフォルダを選択します。
- ・格納した GPS 観測ファイルのドライブ選択をします。
 - ・次に、フォルダを選択します。
 - ・上記②で格納した GPS 観測ファイルのファイル種別を選択します。
ファイル種別は、以下の何れかになります。
 - ・SIG ファイル(.SIG)
 - ・1 時間 RMG ファイル(.RMG)
 - ・10 分 RMG ファイル(.RM0 ~ .RM5)

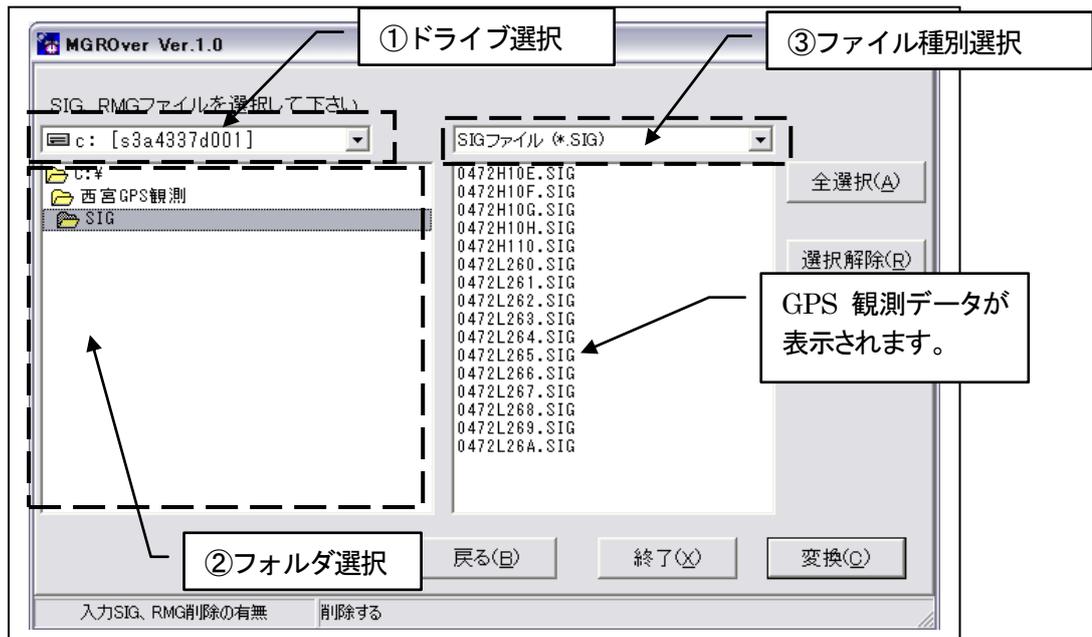


図 5-4 MGROver.exe ファイル選択画面(フォルダ選択)

⑤GPS 観測ファイルを選択し、[変換]をクリックします。

次の画面に遷移し、選択した GPS 観測ファイルのロールオーバー対応が行われます。

GPS 観測ファイルの選択方法は、以下の通りです。

・表示している GPS 観測ファイルを全てロールオーバー対応する場合：

[全選択]をクリックします。

・表示している GPS 観測ファイルを任意でロールオーバー対応する場合：

ファイル名を直接クリックします。

キーボードの Shift キーまたは Ctrl キーを押しながら、ファイル名をクリックすると複数選択できます。

選択した GPS 観測ファイルを解除したい場合は、[選択解除]をクリックします。

※本プログラムは、過去に戻った GPS 時刻か、正しい GPS 時刻かの判定をしており、正しい GPS 時刻については変換を行いません。

よって、正しい GPS 時刻の GPS 観測ファイルを選択しても問題ありません。

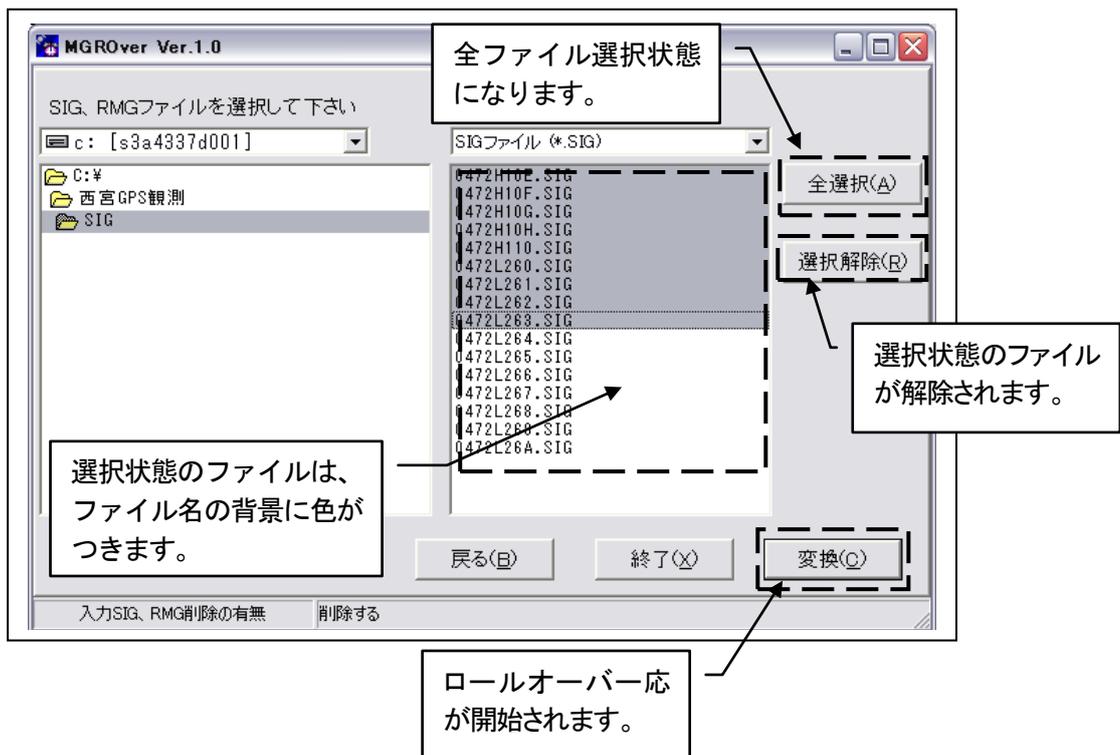


図 5-5 MGROver.exe ファイル選択画面(ファイル選択)

ロールオーバー対応中は、進行状況とロールオーバー対応中のファイル名が表示されていきます。
 ロールオーバー対応を中止したい場合、画面下の[変換中止]をクリックします。
 ロールオーバー対応中の GPS 観測ファイルのロールオーバー対応が終了すれば、中止されます。

ロールオーバー対応中とロールオーバー対応終了時の画面の状態は、下表を参照してください。

画面の状態	ロールオーバー対応中	ロールオーバー対応終了時
進行状況	“変換中・・・”が表示	“変換終了”が表示
[戻る]ボタンの操作	無効	有効
[終了]ボタンの操作	無効	有効
[変換中止]ボタンの操作	有効	無効

表 5-1 画面の状態

ロールオーバー対応中の画面:

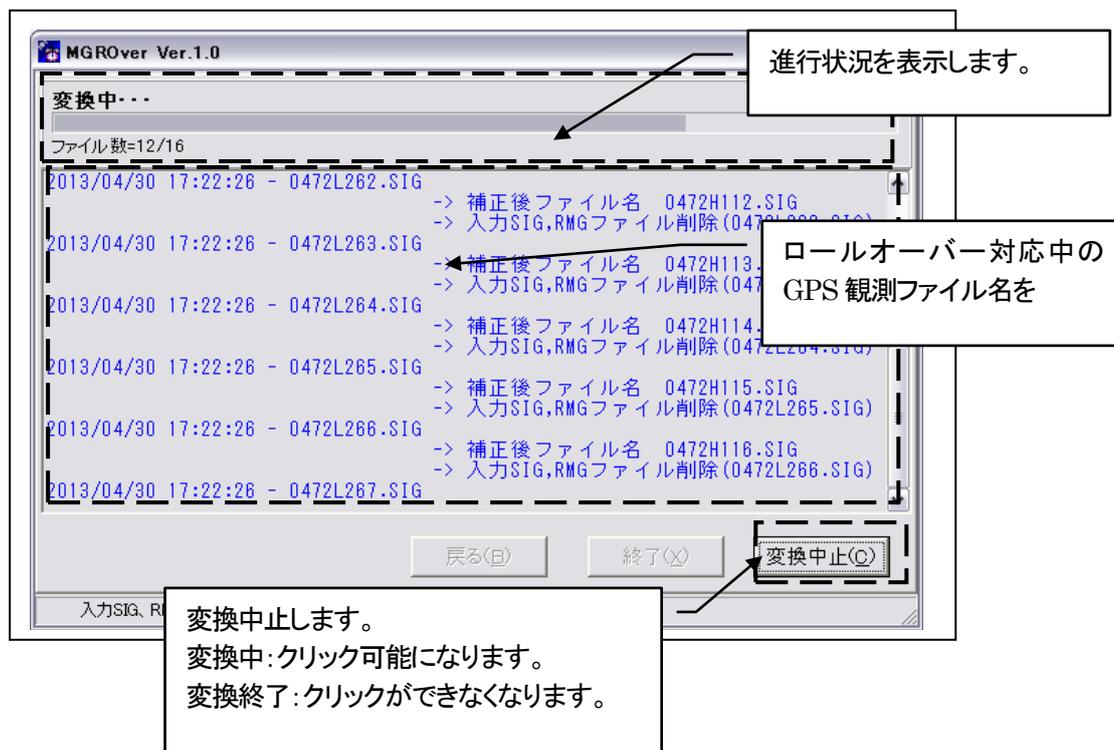


図 5-6 ロールオーバー対応中の画面

ロールオーバー対応終了時の画面:

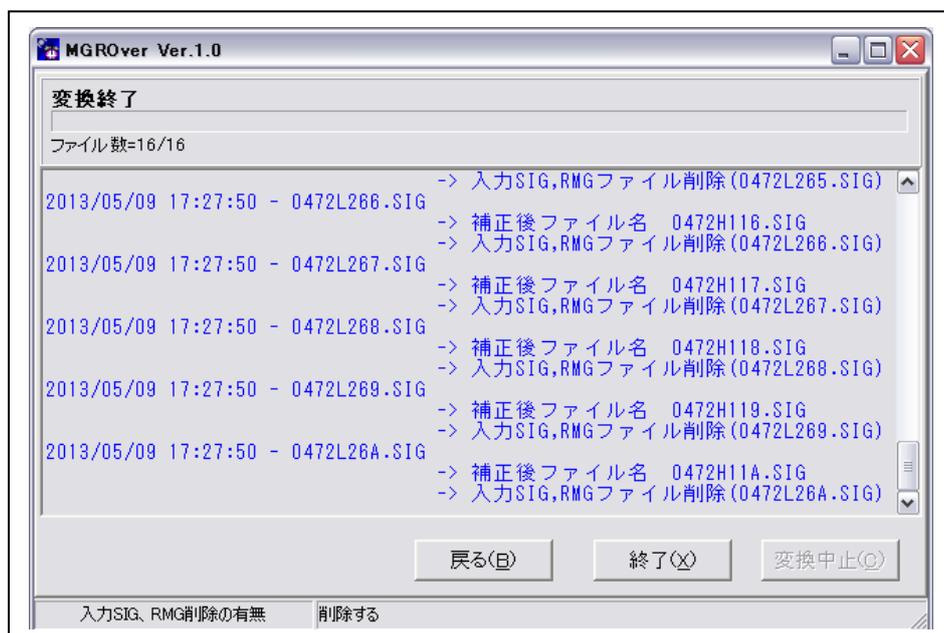


図 5-7 ロールオーバー対応終了時の画面

ロールオーバー対応を中止した時の画面:

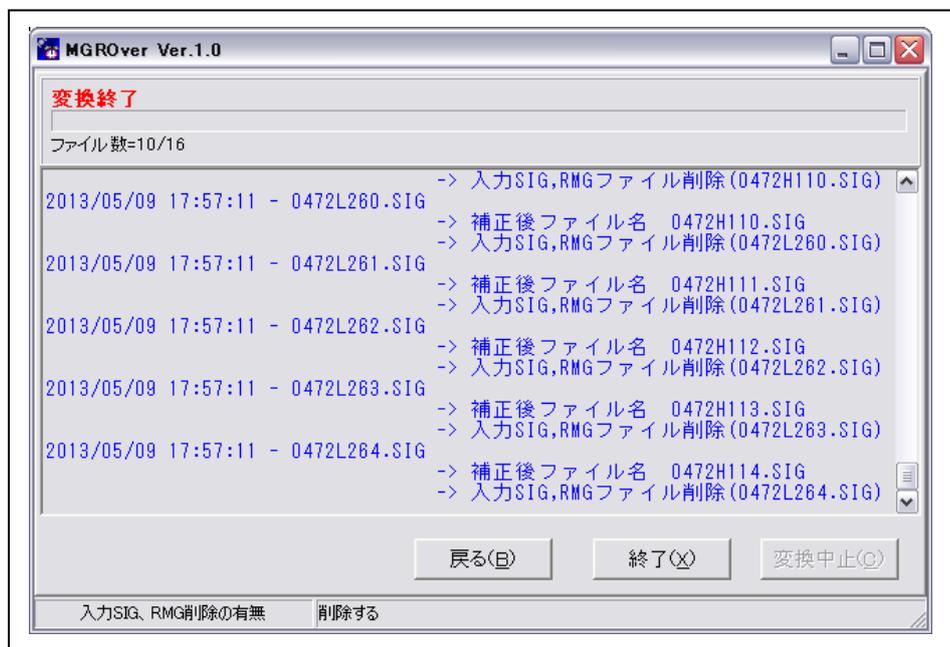


図 5-8 ロールオーバー対応を中止した時の画面

- ⑥別のGPS観測ファイルをロールオーバー対応したい場合は、[戻る]をクリックします。
[戻る]をクリックすると、前画面に戻るので、上記⑤の手順でロールオーバー対応を実施します。

終了する場合は、[終了]をクリックします。
本プログラムが終了します。

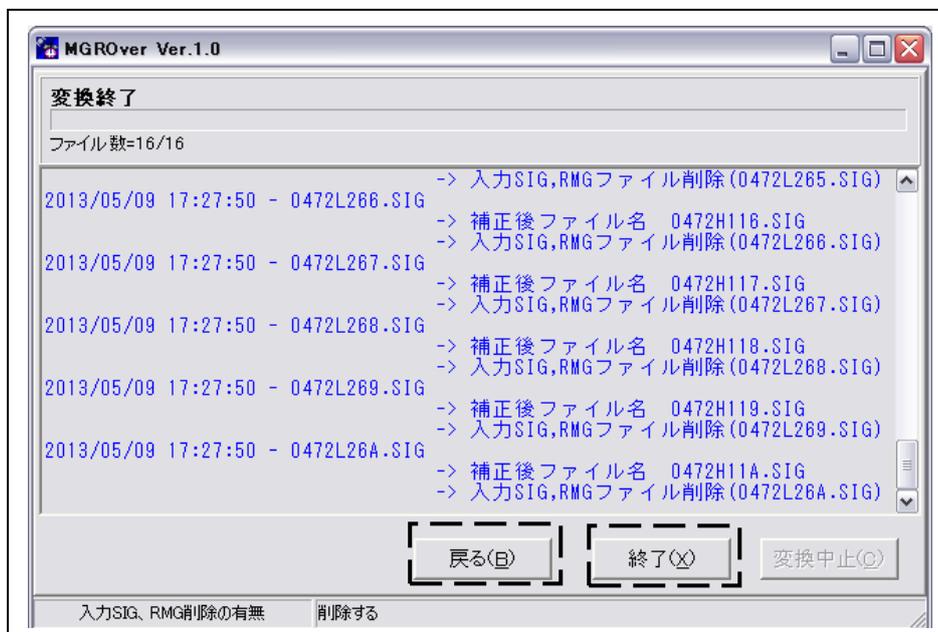


図 5-9 ロールオーバー対応終了時の画面

以上